

令和7年を迎えて

組合員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、元旦に能登で大きな地震が発生し、多大な災害をもたらしました。同時に、その能登への支援に向かう海上保安庁と日本航空の航空機が羽田空港で接触事故を起こし、事故災害に留意する重要性を痛感したスタートとなりました。また、8月には宮崎県沖でマグニチュード7.1の地震が発生し、気象庁より「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表されました。日本は地震大国と言われておりますが、改めてその脅威を感じた次第です。
また、地球温暖化による影響で、世界中で熱波や大雨などの異常気象が多発しました。この先、現在の子供たちが生きているうちに「食料危機」や「種の絶滅」「海面上昇」など、人間の生活や生命を脅かす大きな問題に発展する可能性も指摘されています。

話を変えてポジティブな話題ですが、大谷選手の大活躍はドジャースへの移籍初年度でも素晴らしい結果を記録し、同じ日本人として喜ばしい限りです。そして、パリ五輪では、前回の東京五輪に続く史上2番目となる45個のメダルを獲得しました。改めて日本選手団に敬意を表します。

組合に目を向けますと、2月の「新春セミナー」や10月の「講演の集い」を開催することができました。講演の集いでは、皆さまの関心の高いテーマを選択しお話しすることができました。今後も引き続き、関心の高いテーマをご提供していく所存です。

2025年の干支は「乙巳(きのとみ)」です。60年周期の干支の中で42番目に位置し、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。そして、巳年生まれの方は、年神様の加護を受けやすく、良い結果を出すことができると言われています。蛇は再生や復活の象徴であり、2025年の巳年は新たな変革や成長を遂げる年にふさわしいとされています。巳年生まれの方々は大いに躍動の一年としてください。

さて、建設廃棄物協同組合は来年度設立50周年を迎えます。この50年の間に適正処理と再資源化の推進に尽力してまいりましたが、これからは適正処理と再資源化の推進に加えて、“ストップ地球温暖化”へ向けた環境ソリューションへの取り組みに注力していく所存です。知恵を絞り、具体策を講じ、実践し、検証を行い、脱炭素へのPDCA(計画・実行・評価・改善)を構築し、組合としての価値の創造に努めてまいります。組合員の皆さまには、組合と共に環境ソリューション事業の一環として、更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、皆さまのご多幸とご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。